

労災サポートセンター通信

支え支えられ

賛助会員の皆様と財団を結ぶ機関誌です

賛助会員の皆様におかれましては、平素から「一般財団法人労災サポートセンター」の事業運営につきまして、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

本号では、皆様からの賛助金により令和8年度に実施を予定しております、労災重度被災者作品展、産業殉職者合祀慰霊式への招聘事業などの賛助事業内容のご案内等について、また、全国8か所に設置されている労災特別介護施設（ケアプラザ）の入居者の方々の近況等を掲載しております。

目次

I	第21回 労災重度被災者作品展のご案内	1 頁
II	令和8年産業殉職者合祀慰霊式への招聘事業	2 頁
III	重度被災労働者に対する福祉用具の購入支援事業	3 頁
IV	盲導犬の無償貸与事業	3 頁
V	寄付金の贈呈式	3 頁
VI	労災特別介護施設入居者の方々の近況（労災ケア通信から）	4 頁

I 労災重度被災者作品展のご案内

労災重度被災者作品展は「リハビリからアートまで」と題し、不慮の事故を被り、重度の障害を残しながらも趣味や生きがいを求めて制作された絵画、書、彫刻、陶芸などの作品を一堂に集めて展示し、重度被災労働者の方々の社会参加等の促進に寄与するとともに、労働災害の悲惨さを幅広く知っていただく機会として、中央労働災害防止協会が開催する全国産業安全衛生大会に合わせて、皆様からの賛助金により開催しております。



作品展HPは
こちら

第20回作品展の様様と出展作品

第21回の作品展は、全国産業安全衛生大会が開催される札幌市で、大会と同じ期間（令和8年9月16日から18日）での開催に向けて、その準備を進めております。

会場となる札幌市民ギャラリーは、札幌市の中心部にあり、全国産業安全衛生大会の分科会も札幌市内で開催される予定となっております。

賛助会員の皆様におかれましても、全国産業安全衛生大会にご参加の折などには、是非とも作品展会場まで足を延ばしていただければ幸いです。

なお、より多くの方に作品を鑑賞していただくために、作品展終了後は当財団の公式Webサイトでも作品を公開する予定としております。

(1)開催期間

令和8年9月16日（水）から同年9月18日（金）までの3日間

(2)開催場所

札幌市中央区南2条東6丁目

「札幌市民ギャラリー 展示ホール1・2」

(3)アクセス

地下鉄東西線「バスセンター前」駅10番出口から南（右手）へ徒歩約3分

地下鉄「大通」駅からは、南1条通りまたは地下道を通って東へ徒歩約15分



Ⅱ 令和8年 産業殉職者合祀慰霊式への招聘事業 —高尾みころも霊堂—

賛助金による支援活動の一環として、労働災害によりお亡くなりになられた方々の御遺族を、独立行政法人労働者健康安全機構が主催する産業殉職者合祀慰霊式にお招きする事業を行っています。

産業殉職者合祀慰霊式は、産業災害で亡くなられた方々の尊い御霊をこれまでに奉安された方々の御霊と合祀するとともに、安全な職場環境の実現と労働災害の根絶に向けて努力することを御霊の前で誓う式典で、毎年秋に開催され、今年で55回目となります。

本年の産業殉職者合祀慰霊式も、10月21日（水）に東京都八王子市の高尾みころも霊堂において執り行われる予定となっており、参列を希望される御遺族をお招きすることとしております。



献花される皆様



高尾みころも霊堂

「令和7年 産業殉職者合祀慰霊式」より

Ⅲ 重度被災労働者に対する福祉用具の購入支援事業

令和8年度も引き続き、①電動車いす、②介護用ベッド、③褥瘡防止用エアーマットを購入された傷病（補償）年金又は障害（補償）年金の3級以上の重度被災労働者の方に、賛助金により購入費用の1/3（上限15万円）を助成してまいります（令和7年度は6件、48万円の助成を行いました）。



Ⅳ 盲導犬の無償貸与事業

令和8年度も引き続き、重度の視覚障害を被った労災年金受給者の方に、社会復帰をしていただくため、盲導犬との共同訓練費用を当財団で負担するなど、盲導犬の無償貸与事業を行ってまいります。



Ⅴ 寄附金の贈呈式

当財団に対し、株式会社伊藤様（山口県）より、当財団の活動趣旨に賛同し10万円の寄附を頂きました。4月21日当財団で贈呈式が行われ、代表取締役社長 伊藤 幸平様より馬杉則彦会長へ目録が贈られ、会長から伊藤社長へ感謝状を贈呈しました。

株式会社伊藤は転倒・転落事故の防止を目的とした金属製滑り止め製品の製造・販売を行っています。当財団が「高尾みころも霊堂」へのご遺族の参拝支援を行っており、伊藤社長自身も同霊堂を訪れ、労災削減への決意を新たにした経験があることから、より一層、活動を支援したいと寄付の申出をいただきました。



株式会社伊藤 伊藤 幸平社長（向かって右）



伊藤社長から自社製品の説明を受ける馬杉会長

Ⅵ 労災特別介護施設入居者の方の近況（ケア通信から）

全国8か所の労災特別介護施設（ケアプラザ）には不慮の労働災害により被災し、重度の障害を負われた労災年金受給者の方々が入居されています。

活発に過ごされている入居者の方々の様子を中心に、様々なイベントをご紹介します。

1 「ケアプラザ岩見沢」（北海道労災特別介護施設）

「防災訓練の実施について」

ケアプラザ岩見沢では、令和8年3月に防災訓練を行いました。

前半は、最も人手が少なくなる夜間帯の出火を想定した避難訓練でした。

夜勤職員4名と警備・設備員2名という限られた人数で、初期消火から避難誘導、外部への通報までの一連の流れを確認しました。

そして、職員宿舎への緊急招集訓練も実施し、宿舎に入居している施設長や介護課長が実際に駆けつけました。

こうした訓練は、夜間に災害が起きた場合、少人数での対応がいかに困難であるか、身をもって実感する貴重な機会となりました。

後半は岩見沢消防署の方を講師に招き、救急救命訓練を行いました。職員たちは、真剣な面持ちで心肺蘇生やAEDの操作法を学びました。

今回の訓練で浮き彫りになった課題を、今後の防災体制に反映させ、職員一人ひとりの危機管理意識を高めるとともに、より安心できる施設づくりに努めていきたいと考えております。



夜間を想定した避難訓練の様子

2 ケアプラザ富谷（宮城労災特別介護施設）

「色とりどりの花のじゅうたんに、感動！」

10月22日（水）、施設行事のミニ旅行として、広大な花畑で知られる「やくらいガーデン」を訪れました。やや肌寒い季節でしたが、色とりどりの花々が広がる園内をゆったりと散策でき、とてもリフレッシュできる時間になりました。

入居者の方々も「きれいだね」「また来たいね」と笑顔が多く見られ、写真を撮ったり季節の花の香りを楽しんだり、思い思いに過ごされていました。

施設の中ではなく、普段とは少し違った雰囲気でも話げたのも良い機会でした。今後もこのように楽しめる行事を続けていきたいと思ひます。



色とりどりの花畑をバックに笑顔の入居者の方

3 ケアプラザ四街道（千葉労災特別介護施設）

「対抗戦で白熱！盛り上がった運動会」

10月22日（水）コミュニティホールで秋の運動会を行いました。

行った種目は定番の「玉入れ」から始まり、一列に並んでビーチボールを隣の人に渡す「玉送りリレー」、パン食い競争の「パン」を「うまい棒」に変えた「駄菓子食い競争」です。

今回は棟別対抗戦としたため、参加者全員が白熱して大盛り上がりでした。

「玉入れ」では皆さんナイスピッチング。籠の中に入るものもあれば、落ちた玉を拾う職員に直撃する玉もあり、思いがけない場面に大爆笑！

また、「駄菓子食い競争」では、うまい棒めがけて車イスで猛ダッシュする姿も見られ、ヒヤヒヤしたり盛り上がったりと、あっという間に予定の2時間が経過し、白熱した運動会はお開きとなりました。



白熱した玉入れ競技、ナイスピッチングも続出！

4 ケアプラザ瀬戸（愛知労災特別介護施設）

「施設内の畑で収穫、さつまいも美味しかった！」

施設の中庭に空き区画があり、入居者の方々から「畑にしてはどうか」との意見を頂戴し、職員有志でさつまいもを栽培しました。

夏の猛暑もさつまいもの栽培には丁度良く、約10kgを収穫しました。

ある秋の日入居者の方々と一緒に収穫し、後日調理して焼き芋と大学芋を味わいました。

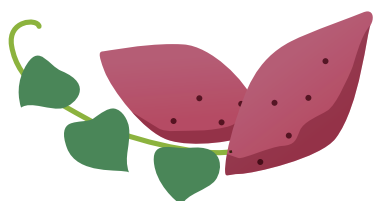
皆さんから、「焼きたては美味しい」「近頃売っている芋はネットリばかりだが、ホクホク系のさつまいもだった」などと満足していただき、栽培した有志として嬉しいのは勿論、上手くいって焼き芋だけに「ホット」しました。

入居者の方々と食の大切さを理解するいい機会ともなりました。

これからも皆さんに楽しんでいただける作物を植えて食べ物に感謝する食育を楽しみたいと思います。



収穫したさつまいもを手にする入居者の方



5 ケアプラザ堺（大阪労災特別介護施設）

「ボッチャ大会」

11月23日（日）堺市内にあるファインプラザ大阪でボッチャ大会が開催されました。

当施設からは、毎週日曜日に施設内で練習しているクラブメンバー8名の入居者の方々が参加されました。

コロナ禍による行動制限が緩和され、6年ぶりの参加となりました。前回の経験者と今回初参加者の混成チーム2組が、日頃の練習成果を出すべく果敢に挑戦。どの試合も緻密な戦略や駆け引きのもと、緊張感に満ちたコートでの白熱した試合展開となりました。

結果は予選リーグを勝ち進むも決勝トーナメント2回戦で惜しくも敗退となりましたが、久々の参加ということもあり、メンバーからは普段見られない充実感に満ちた様子が窺えました。

早くも次回大会での優勝を目指して、入居者の方々は再び練習に励んでいます。



集中力を研ぎ澄ませた一投！

6 ケアプラザ呉（広島労災特別介護施設）

「お花見ドライブ」

4月8日（水）に、入居者7名、職員6名が施設のバスに乗り込み、30分程のところにある広公園へ行ってきました。

公園に到着すると、満開の桜が迎えてくれました。この日は近隣の学校で入学式が行われたようで、たくさんの子供達で賑わっていました。

入居者の方々は満開の桜を見て、「わぁ」と大きな歓声をあげて、職員が「桜が綺麗ですね」と声をかけると、大きく頷いていらっしゃいました。

普段、笑顔の少ない入居者の方も子供達が遊んでいる光景を見て、顔がほころび喜んでいらっしゃる様子でした。

お花見ドライブに参加された入居者の方々から、「きれい」、「気持ちがいいな」、「すげーな」などの声があちこちからあがり、明るい表情もたくさん見ることができ、心温まる時間を過ごすことができました。

今年度は、施設の外に出かける行事を増やす計画をたてています。入居者の方々の気分転換や、施設での生活に潤いを感じていただき、安心して生活を送っていただけるよう、職員一同努めています。



満開の桜を背景に笑顔の記念撮影



7 ケアプラザ新居浜（愛媛労災特別介護施設）

「ケアプラザ新居浜に入居して」 入居者 竹中進一

私は高知県室戸市の出身で、20代の頃に仕事上の怪我で脊髄損傷となりました。

複数の病院で治療を終え自宅に戻った後は、仕事もしながらキャンピングカーで各地を巡り、キャンプや釣りを楽しみました。

数年前から年齢とともに自宅生活が厳しくなり、これまで支えてくれた家族にも無理をさせたくないという思いから、ケアマネジャーさんの勧めもあり、ケアプラザ新居浜への入居を検討し始めました。

いくつかの他の介護施設を回りましたが、ケアプラザ新居浜のショートステイを利用した際に、介護スタッフの方が私の障害をよく理解して介助してくださることと、車いすでも生活しやすい広々とした造りが気に入り入居を決めました。

令和7年12月に入居し、マイカーを持ち込み、入居してから大好きなドライブを続けております。

これからも、ここケアプラザ新居浜で充実した毎日を過ごしていきたいと感じております。



観桜会で乾杯！（向かって右から2番目が竹中さん）

8 ケアプラザ宇土（熊本労災特別介護施設）

「楽しい買い物ツアー」

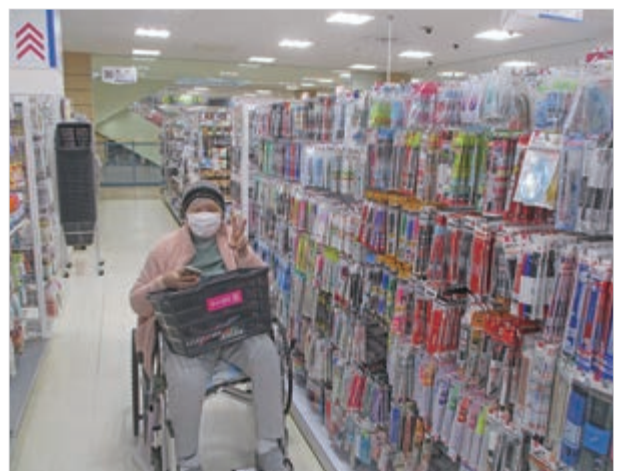
4月15日（水）、買い物ツアーを開催しました。

入居者の方々20名が参加され、施設近くのショッピングモールで買い物を楽しまれました。

当日は地元ボランティアの方々もお手伝いにかけてくださり、入居者の皆様は好きな売り場を見てまわることができました。

そして、食品売り場、本屋、電気店や百元ショップ等でそれぞれお目当ての商品を選ばれ、施設内の売店には置いていない色々な品を購入されていました。

普段外出する機会が少ない入居者の方々が多く、売り場をまわり好きな商品を探すショッピングは気分転換にもなり、大変喜ばれていました。



色々な商品を見て回るのも楽しみ！



労災年金支援センター所在地等一覧

労災年金支援センター名	所在地・電話番号	担当区域
北海道労災年金支援センター	〒060-0061 北海道札幌市中央区南1条西8-14-3 札幌第2スカイビル6階	北海道
	TEL 011-241-8083 FAX 011-241-8084	
東北労災年金支援センター	〒980-0014 宮城県仙台市青葉区本町3-5-3 佐新ビル4階	青森県、岩手県、宮城県 秋田県、山形県、福島県
	TEL 022-265-7667 FAX 022-265-7669	
関東労災年金支援センター	〒102-0073 東京都千代田区九段北4-1-3 飛栄九段北ビル10階	茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、 千葉県、東京都、神奈川県、新潟県 山梨県、長野県
	TEL 03-6834-2640 FAX 03-6834-2545	
中部労災年金支援センター	〒460-0003 愛知県名古屋市中区錦2-5-5 八木兵伝馬町ビル8階	富山県、石川県、福井県 岐阜県、静岡県、愛知県 三重県
	TEL 052-205-7211 FAX 052-205-7212	
近畿労災年金支援センター	〒540-6591 大阪府大阪市中央区大手前1-7-31 OMMビル16階	滋賀県、京都府、大阪府 兵庫県、奈良県、和歌山県
	TEL 06-4790-1611 FAX 06-4790-1622	
中国・四国労災年金支援センター	〒730-0012 広島県広島市中区上八丁堀8-10 クロスタワー4階	鳥取県、島根県、岡山県 広島県、山口県、徳島県 香川県、愛媛県、高知県
	TEL 082-223-3286 FAX 082-221-1169	
九州労災年金支援センター	〒812-0013 福岡県福岡市博多区博多駅東1-10-35 CLUB博多駅東オフィスビル3階302号	福岡県、佐賀県、長崎県 熊本県、大分県、宮崎県 鹿児島県、沖縄県
	TEL 092-472-7161 FAX 092-481-5609	

労災特別介護施設(ケアプラザ)所在地等一覧

労災特別介護施設名	所在地	電話番号
北海道労災特別介護施設 (ケアプラザ岩見沢)	〒068-0829 北海道岩見沢市かえで町8-1-1	TEL 0126-25-9001 FAX 0126-22-9470
宮城労災特別介護施設 (ケアプラザ富谷)	〒981-3332 宮城県富谷市明石台4-8-1	TEL 022-772-3311 FAX 022-772-3312
千葉労災特別介護施設 (ケアプラザ四街道)	〒284-0037 千葉県四街道市中台511	TEL 043-433-0120 FAX 043-433-0431
愛知労災特別介護施設 (ケアプラザ瀬戸)	〒489-0989 愛知県瀬戸市山手町294-5	TEL 0561-85-5400 FAX 0561-85-4431
大阪労災特別介護施設 (ケアプラザ堺)	〒590-0137 大阪府堺市南区城山台5-2-1	TEL 072-291-7989 FAX 072-291-7993
広島労災特別介護施設 (ケアプラザ呉)	〒737-0923 広島県呉市神山2-1-15	TEL 0823-34-5577 FAX 0823-30-1888
愛媛労災特別介護施設 (ケアプラザ新居浜)	〒792-0896 愛媛県新居浜市阿島1-3-12	TEL 0897-67-1122 FAX 0897-67-1155
熊本労災特別介護施設 (ケアプラザ宇土)	〒869-0407 熊本県宇土市松原町243	TEL 0964-23-2211 FAX 0964-23-2214

労災サポートセンター通信
支え支えられ 第58号

令和8年7月10日発行
発行人 馬杉 則彦

一般財団法人労災サポートセンター

〒102-0073
東京都千代田区九段北4-1-3 飛栄九段北ビル10階
TEL 03-6834-2510 FAX 03-6834-2530